

エコアクション21

2020年度環境経営レポート

発行日 2021年4月 2日

改定日 2021年4月26日

レポート対象期間 2020年3月 ~ 2021年2月

有限会社 城陽産業



エコアクション21
®環境省
認証番号 0008303



ノスリ

[目次]

表紙	1
目次	2
1. 事業概要	3
1) 事業者名及び代表者名	3
2) 所在地	3
3) 環境管理責任者及び事務局	3
4) 連絡先	3
5) 事業活動の内容	3
6) 適用事業範囲	3
7) 事業規模	3
8) 施設等の状況	3
9) 産業廃棄物許可証の内容及び許可番号	4
10) 廃棄物の処理料金	4
11) 環境関連技術資格の名称と取得人数	4
12) E A 2 1 推進組織図	5
2. 環境経営方針・環境経営目標	6～7
3. 2020年度分環境負荷の調査結果と取組状況まとめ	8
4. 2020年度環境経営目標・実績	9～11
5. 主要な環境経営計画取組み結果の考察	11～13
6. 次年度以降の取組み内容	13
7. 環境関連法規への違反、訴追等の有無	14
8. 代表者による全体評価と見直し・指示	14

1. 事業概要

- 1) 事業者名称及び代表者名
事業者名称：有限会社城陽産業
代表者名：代表取締役 浦上富廣
設立日：昭和44年 4月1日
資本金：500万円
- 2) 所在地
本社
〒671-0101
兵庫県姫路市大塩町2162
- 3) 環境管理責任者及び事務局
環境管理責任者：代表取締役 浦上富廣
環境事務局：湯口正文
- 4) 連絡先
連絡担当者：(環境事務局) 湯口正文
TEL：079-247-9652
FAX：079-247-9653
- 5) 事業活動の内容
産業廃棄物の収集運搬
製鋼原料売買
製紙原料売買
出先での請負工事
- 6) 認証・登録事業範囲
登録事業者名：有限会社城陽産業
対象事業所：本社・工場
対象外：なし
対象とする活動：(事業活動の内容と同じ)

7) 事業規模

活動規模	単位	2009年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
処理量	t	3,718	3,834	2,084	1,139	1,864
売上高	百万円	160	177	176	121	124
従業員数	人	13	9	8	9	9

8) 施設等の状況

○収集運搬車両等

- ・8t車クレーン付ダンプ 1車
- ・4t車ヒヤブクレーン付き平ボデー 1車
- ・3t車ヒヤブクレーン付きダンプ 1車
- ・2t車平ボデー 1車
- ・営業車 1車
- ・軽トラック 1車

○その他車両

- ・フォークリフト 5台
- ・ショベルローダー 1台

○計量器

- ・台秤(最大計量容量5t) 1台

9) 産業廃棄物許可証の内容及び許可番号

許可 県市名	事業の区分	許 可 番 号	事 業 の 範 囲	許 可 年月日	許 可 有効期限
兵庫県	産業廃棄物 収集運搬業	02802012453	汚泥（水銀含有ばいじん等を含む）、廃油、 廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を 含む）、紙くず、木くず、繊維くず、金属 くず、ガラスくず・コンクリートくず及び 陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む）、 がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む） 上記については水銀使用製品産業廃棄物 を含む。	R1.07.27	R6.07.26

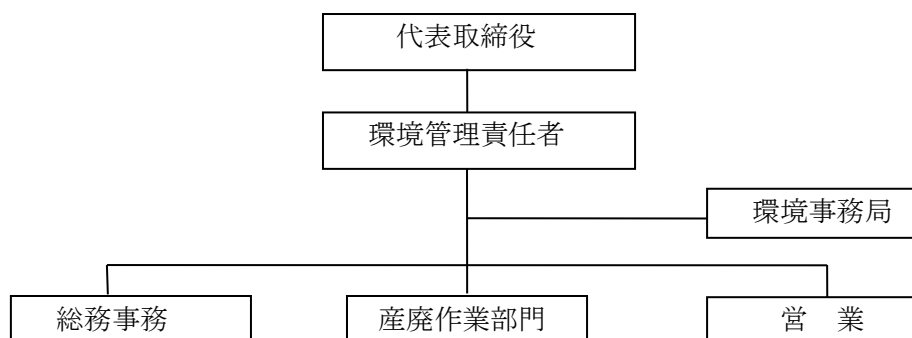
その他の許可内容 古物商許可（兵庫県公安委員会） 第631609000052号
 公布日 H2. 7. 13
 変更日 R2. 3. 9
 金属商許可（兵庫県公安委員会） 第1600100001号
 許可・公布日 H13. 6. 1
 変更日 R2. 3. 9

10) 廃棄物の処理料金：別途見積書による
 （廃棄物の種類、数量、荷姿、性状等により、処理料金が異なる為）

11) 環境関連技術資格の名称と取得人数

大型運転免許・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3人
 中型運転免許・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5人
 大型特殊運転免許・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1人
 けん引運転免許・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1人
 移動式クレーン運転免許・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1人
 小型移動式クレーン運転技能講習修了・・・・・・・・・・・・・・ 2人
 玉掛技能講習修了・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3人
 ガス溶接技能講習修了・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2人
 フォークリフト運転技能講習修了・・・・・・・・・・・・・・ 6人
 ショベルローダー等運転技能運転修了・・・・・・・・・・・・・・ 2人
 フロン回収技術講習修了・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1人

1 2) E A 2 1 推進組織図



	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間、技能、技術者の準備 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標設定の承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムを構築し、実施し、管理 ・法規制登録簿の承認 ・環境経営計画書の承認 ・環境経営の取組み結果の代表者への報告 ・環境経営レポートの確認及び地域事務局への送付
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、E A 2 1 推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・テスト、訓練の実施のフォロー ・従業員に対する教育訓練計画の作成とフォロー ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加。

2. 環境経営方針

2020年度環境経営方針

制定日 2020年4月10日 改定日 2020年8月17日
代表取締役 浦上富廣

基本方針

有限会社城陽産業は、企業理念に基づき全ての業務を通じて省エネルギー、省資源、リサイクルの推進、廃棄物削減を自主的、積極的、継続的に推進し、地球環境の保護に努める。その為には自社の環境保全意識とリサイクル技術を持った熟練技術者を生かし育てて継続的改善を進め社会に貢献する。

スローガン

「地球環境を守る」を基本に一人ひとりが責任を持ち積極的に行動する。

重点活動

- 1) エコアクション21マネジメントシステムを円滑に運用する。そのためエコアクション21事務局を設置し、関する諸問題を協議し解決する。
- 2) 従業員に対して朝礼、研修等を通じて、環境経営方針、環境経営計画などについて周知徹底を図る。
- 3) 環境関連法規、及びエコアクション21の要求事項を遵守する。
- 4) 収集運搬業務、及び外部請負業務等においては、常に環境への配慮を行う。
- 5) 以下を活動の項目とし、環境負荷の低減を図るため、具体的数値目標を定め、実施評価、見直しを行い、継続的な活動に取り組む。
 - ①省エネルギー活動を推進し二酸化炭素排出量の削減
 - ②節水による水使用量の削減に取り組む
 - ③化学物質の適正管理
 - ④廃棄物の削減とリサイクル化を推進
 - ⑤グリーン購入の推進
 - ⑥受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮
 - ⑦地域社会活動に貢献

—この環境経営方針は、全従業員に周知徹底するとともに、社内外に公表する—

2-1 環境経営目標（基準年度2020年）（各エネルギーのCO₂排出量目標は4項別表に表示）

○各エネルギー使用量の削減により二酸化炭素排出量を削減する			
二酸化炭素総排出量目標 35,469kg-CO ₂ /年以下			
エネルギー削減項目	・電力使用量の削減	基準年度以下	13,585kWh/年以下
	・ガソリン使用量の削減		2,014.6ℓ/年以下
	・軽油使用量の削減	基準年度の年平均原単位以下	目標原単位0.872 (軽油ℓ/売上高万円)以下
	・プロパンガスの削減	基準年度以下	23.0kg/年以下
○節水による水使用量の削減			
	・代替水活用による水道水の節減	基準年度以下	66.1m ³ /年以下
○化学物質の使用量の削減・適正管理			
	・燃料の漏れ防止、塗料、溶剤容器の蓋		漏れ防止、不要時は蓋
○選別、リサイクルの徹底で廃棄物削減			
	・選別方法見直しによる再資源化量拡大		リサイクル率85%以上
○受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮			
	・収集運搬時の飛散、漏洩の防止		飛散、漏洩事故ゼロ
○事業所周囲の定期的清掃作業			
	・従業員による事業所周囲の定期清掃		1回以上/月

2-2 2023年までの中長期の環境目標

○各エネルギー使用量削減目標		
基準年度（2020年度）に対する各年度削減率	前年の0.5%上乘し目標	
○水道使用量削減目標		
基準年度以下		
○化学物質の使用量の削減・適正管理	燃料の漏れ防止	漏洩事故件数0件
	塗料、溶剤容器の蓋	確実に閉める
○リサイクルの徹底で廃棄物削減	取り組み定着 再資源化量の拡大	
	リサイクル率	85%以上維持
○収集運搬時の飛散、漏洩事故防止	飛散、漏洩事故件数	0件
○事業所周囲の定期清掃	従業員による清掃	1回以上/月

3. 2020年度環境負荷の調査結果と取組状況まとめ

2020年度の環境負荷削減の目標及び環境活動を策定する為、過去2年間の「環境への負荷の自己チェック表」及び「環境への取り組みの自己チェック表」の調査結果のまとめは下表の通りです。

（電力購入先：関西電力 2017年度公表値 CO₂調整後排出係数 0.418kg-CO₂/kWh）
環境への負荷の自己チェック表（集計期間 2018年度～2020年度）

		単位	2018年度	2019年度	2020年度	
温室効果 ガス排出量	二酸化炭素	kg— CO ₂	47,796	33,302	30,242	
受託した 産業廃棄 物の処理 量	収集運搬量	t	2,051	1,120	1,835	
自社発生 産業廃棄 物排出量	熱回収	t	20.02	11.5	18.05	
	再資源化量	t	13.06	7.01	8.46	
自社発生 一般廃棄 物等総排 出量	再使用	t	—	—	—	
	再生利用	t	0.19	0.184	0.152	
	熱回収	t	—	—	—	
	単純焼却	t	0.02	0.022	0.026	
	その他	t	—	—	—	
最終処分量	t	—	—	—		
総排水量	公共水域	m ³	69.3	72.58	73.37	
水資源投 入量	上水	m ³	60.7	64.78	64.87	
	地下水	m ³	—	—	—	
	雨水	m ³	8.6	7.8	8.6	
総エネル ギー投入 量	購入電力	kWh	13,321	13,584	13,186	
	使用量内訳	ガソリン	リッ トル	2,039	2,014	1,429
		軽油	リッ トル	13,799	8,719	8,127
		LPG	kg	23.0	21.68	27.83

環境への取り組み状況まとめ

2020年度（2020年3月から2021年2月迄）の環境への取り組みの自己チェック表の取りまとめ。（数値の上段は2019年度、下段は2020年度の終了後の値）

作成日 2021.3.10

施 策		チェックの結果の点数	満点の場合の点数	実施度 %	実施度合いの低い施策項目、又は変化点
【産業廃棄物業者向け】 I. 廃棄物処理に関する取り組み					
1. 廃棄物処理の事業活動に関する報告	1) 受託、又は受領した廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮	56 56	64 64	87.5 87.5	
	2) 産業廃棄物の処理などにおける環境配慮	56 56	56 56	100 100	
合 計		112 112	120 120	93.3 93.3	
【産業廃棄物業者向け】 II. その他の取り組み					
1. 事業活動へのインプットに関する項目	1) 省エネルギー	103 97	108 106	95.4 91.51	
	2) 省資源	12 14	12 14	100 100	評価項目追加 集約コピー
	3) 水の効率的利用及び日常的な節水	20 24	20 24	100 100	2020年度節水呼びかけ表示取り付け
	4) 化学物質使用量の抑制及び管理	8 8	8 8	100 100	
小 計		143 143	148 152	96.6 94.08	
2. 事業活動からのアウトプットに関する項目	1) 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染などの防止	10 10	10 10	100 100	
	2) 廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	45 45	50 50	90 90	
	3) 排水処理	—	—	—	
	4) その他の生活環境に係る保全の取り組みなど	—	—	—	
小 計		55 55	60 60	91.7 91.7	
3. 製品及びサービスに関する項目	1) グリーン購入	4 4	8 8	50 50	
	2) 製品サービスにおける環境配慮	14 14	16 16	87.5 87.5	
小 計		18 18	24 24	75 75	
4. その他	1) 生物多様性の保全と持続可能な利用の為の取組	—	—	—	
	2) 環境コミュニケーション及び社会貢献	4 4	4 4	100 100	
	3) 施主・事業主における建築物の増改築、解体などに当たっての環境配慮	—	—	—	
小 計		4 4	4 4	100 100	
合 計		220 220	236 240	93.2 91.67	

4. 2020年度環境経営目標

P7 3項の2019年度の環境への負荷、及び環境へ取組み状況まとめにより、基準年度2019年度を元にコロナ過を考慮した目標値を2020年度の値として取り組んだ

取組み項目		基準年度値	2020年度目標 2020年3月 ～2021年2月
二酸化炭素排出量の削減 基準年度 2020年度 2020年度目標値 基準年度と同値 注意 原単位は 軽油使用量% / 売上高(万円)	電力使用量の削減 (kWh)	5,679 (13,585)	5,679 (13,585)
	軽油使用量の削減 注 軽油は原単位で管理 (L)	原単位0.872 25,044 (9,543.0)	原単位0.872 25,044 (9,543.0)
	ガソリン使用量の削減 (L)	4,677 (2,014.6)	4,677 (2,014.6)
	ガス使用量の削減 (kg)	69 (23.0)	69 (23)
二酸化炭素排出量の合計		35,469	35,469
水道使用量の削減 (m ³)		66.1	66.1
廃棄物分別によるリサイクルの向上		2019年度 より目標値 85%以上	選別方法見直しに よる再資源化量拡大 85%以上
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における 環境配慮 収集運搬時の飛散、漏洩の防止		収集飛散、漏洩 事故 0件	収集飛散、漏洩 事故 0件
地域社会への貢献		不定期に周辺の清掃実施	事業所周辺の定期 清掃 1回以上/月

※1 電力の二酸化炭素排出係数基準年度(2009年度)に遡って排出量見直し

購入先：関西電力 2017年度公表値 CO₂調整後排出係数 0.418kg-CO₂/kWh

4. 実績(運用期間 2020年3月～2021年2月)

環境目標に対する達成状況は下記の通りです。

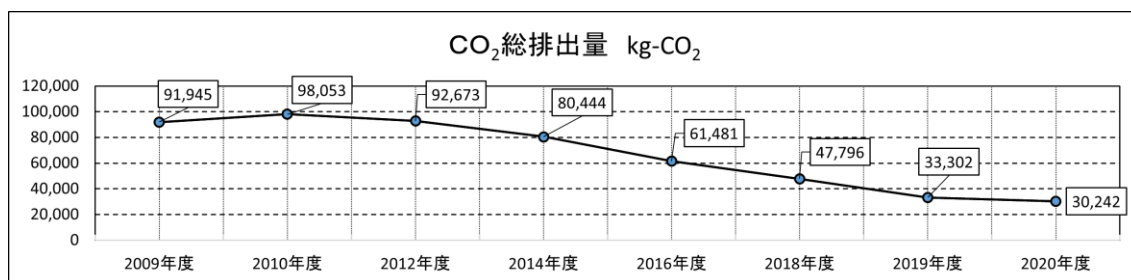
達成率の計算は右記の式を使用する 達成率 = (1 - (実績値 - 目標値) / 目標値) × 100

温室効果ガス総排出量の推移(2012年5月認証・登録)

注意 各年度とも電力のCO₂調整後排出係数は0.418kg-CO₂/kWhで計算しています。

1) 事業活動による二酸化炭素総排出量削減

取組み項目	2020年度目標	2020年度実績値 (3月～2月)	達成率	判定
エネルギー使用量削減 による二酸化炭素排出 量削減	35,469 kg-CO ₂	30,242 kg-CO ₂	114.7 %	達成



1) - 1 電力使用量の削減

取組み項目	2020年度目標	2020年度実績値 (3月～2月)	達成率	判定
使用量の削減 基準年度以下	13,585 kWh	13,186 kWh	102.9 %	達成
CO ₂ 排出量の削減 基準年度以下	5,679 kg-CO ₂	5,511.7 kg-CO ₂		

1) - 2 ガソリン使用量の削減

取組み項目	2020年度目標	2020年度実績値 (3月～2月)	達成率	判定
使用量の削減 基準年度以下	2,014.6 リットル	1,429.2 リットル	129.0 %	達成
CO ₂ 排出量の削減 基準年度以下	4,677 kg-CO ₂	3,318 kg-CO ₂		

1) - 3 軽油使用量の削減 (取組み項目：原単位の低減 軽油使用量/売利上げ高)

取組み項目	2020年度目標	2020年度実績値 (3月～2月)	達成率	判定
原単位の低減 基準年度の原単位以下	0.872 リットル/万円	0.651 リットル/万円	125.3 %	達成
使用量の削減 ※2基準年度以下	9,543 リットル	8,127 リットル	114.8 %	達成
CO ₂ 排出量の削減 基準年度以下	25,044 kg-CO ₂	21,329 kg-CO ₂		

※2 軽油使用量は業務量(収集運搬量)に大きく影響され、軽油量削減をメインの削減目標とはできない。ゆえに売上高当たりの軽油使用量で表される原単位低減を目標としている為参考値とする。

1) - 4 LPG使用量の削減

取組み項目	2020年度目標	2020年度実績値 (3月～2月)	達成率	判定
使用量の削減 基準年度以下	23.0 kg	27.83kg	79.01 %	未達成
CO ₂ 排出量の削減 基準年度以下	69 kg-CO ₂	83.53 kg-CO ₂		

2) 水道使用量の削減

取組み項目	2020年度目標	2020年度実績値 (3月～2月)	達成率	判定
使用量の削減 基準年度以下	66.1 m ³	64.87 m ³	101.8 %	達成

水道水使用量は2020年度を基準にして基準年度を維持することとする

3) 選別とリサイクルの推進 $\frac{\text{リサイクル率}}{\text{（全収集運搬量一埋立向量）}} \div \text{全収集運搬量} \times 100$

取組み項目	取組み結果	判定
趣旨説明と現状調査	・全員に趣旨説明と現状作業の確認を指示	達成
改善案作成	・金属と樹脂の混合物のリサイクル化	達成
実施及び実施結果確認と見直し 2020年度目標値 85%以上	・金属スクラップ [※] の直行分をリサイクル対象から外した為、埋立向け廃棄物量の増減で大きく変動 年間リサイクル率96.18% リサイクル量1792t/全収集運搬量1864t（年間）	達成
取組みの定着	・処理可能な収集物の分別を徹底	達成
取組みの結果確認と改善案作成	・定期的な現場確認とフォロー実施	達成

4) 受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮

取組み項目	取組み結果	判定
漏洩事故の防止	容器の密閉、転倒防止対策確実実施 事故0件	達成
飛散事故の防止	シート、ネットによる養生確実実施 事故0件	達成

5) 地域社会活動に貢献する

取組み項目	取組み結果	判定
趣旨説明と現状調査	・趣旨説明の実施	達成
清掃予定場所の設定と実施	・清掃日を決めずに不法投棄ごみ発見時に回収	達成
問題点の把握と改善案作成	・従業員全員での清掃が仕事の段取りで難しくなったが、不法投棄を発見した場合、及び番犬の散歩時に廃棄ごみを見つけた場合はその場で回収するようにしている。	達成

5. 主要な環境経営計画取組み結果の考察

事業活動による環境負荷を低減する為、事務局で進捗状況をフォローし、定期的な環境教育時にグラフ化した資料により変化点の説明等わかり易く説明と掲示をすると共に、環境管理責任者から収集運搬時の注意事項の説明をすることで意識向上を図った。それらの結果、収集運搬中の飛散、漏洩事象がEA21認証以降は一度も発生していないのは一番の効果だと判断している。

新型コロナウイルスでの影響を考慮して収集運搬量及び売上高を予測し目標値を見直して取り組んできた収集運搬量、売上高の変動が大きく評価は難しかった。

各取り組みの詳細は下記の通りとなっている。

1) 二酸化炭素排出量の削減

年間総CO₂排出量は達成率114.74%とクリアできた。これは新型コロナウイルスの影響で収集運搬量の減少が大きく影響していると考えられる。

(1) 電力使用量の削減

従業員の休憩時間の作業環境を改善する為エアコンの運転時間を増やした為、2020年度の目標値を増やしたが、結果的には昨年度より2.9%減、目標値より約3%減で達成率約102.9%となった。

2020年度に取り組んだ内容

○不要照明の消灯の継続実施

ミーティング等にて取り組みを指示し。

○冷暖房時のエコ運転設定継続（室温：冷房時26度以上 暖房時22度以下）

(2) ガソリン、軽油使用量の削減

各燃料使用量は収集運搬量の減少等で大きく削減した。又、適正運行管理の実施、エコドライブの推進でガソリン、軽油使用量は目標を十分クリアできた。

取組み内容

○エコドライブの推進

エコドライブについて、ミーティングの度に教育を行っている。今後も継続してエコドライブへの呼び掛けを行う。

○適正運行管理による運送効率のUPで軽油の原単位の良くする

昨年度に続き収集運搬と管理業務を出来るだけ同じタイミングで行い、空車で走行距離を削減する取り組みを継続し、燃料の削減を図るよう業務の改善を進めて来た。ただし、4月度は極端に収集運搬量が減り原単位は悪くなった。

特記事項

原単位が悪くなるのは新型コロナウイルスの影響で廃棄物排出事業所からの収集運搬量の予測が難しく運行効率の悪い月が時々発生したのが要因。

(3) LPG使用量の削減

未使用時の種火消化によるLPG消費の防止を図ることを継続している。

20年度は8月末より作業場手洗い場に温水が使用できるよう変更で使用量が増加した。結果、目標値より約21%増、達成率約79%となった。

継続事例 ・ 給湯器のガス元栓は使用時のみ開とし、種火によるLPG消費を削減、LPGの削減取組みは今後も継続維持とする。

2) 水道水使用量の削減

収集運搬、選別、及び機器の修理作業等で汚れる業務が多くなるのを考慮して目標値を見直していた。2020年度はホースの破損、凍結による配管破損、水栓の閉め忘れ等の事象が発生したが達成率約101.9%で目標値はクリアできた。今後は設備の点検、早めの整備を図り、水栓の閉め忘れが無いように周知した。

取組み内容

○洗車の方法、回数、タイミング等の工夫で水使用量の節減

○代替水活用による水道水の節減（緑地への灌水は雨水の再利用等）

○各水栓に節水協力の表示を貼るとともに環境教育時に説明実施

3) 化学物質の適正管理

日常より燃料漏れの防止、塗料未使用時の塗料缶の蓋の徹底を指導している為化学物質の漏洩、大気への放出防止は確実に実施されている。

又、PRTTR法対象の指定化学物質は少量購入している塗料、及び燃料以外は購入実績はありません。

4) 廃棄物の削減とリサイクル化の推進

収集運搬量は新型コロナウイルスの影響で4月から8月までは大幅に減少したがリサイクル率は大きく変動せずに推移していた。

今後ともリサイクルのアイテムを増やし発生量の変動に影響されないよう取り組む必要があり、リサイクル先の開拓は廃家電のリサイクル先を増やし効果を確認中

変化点

・ 取引先（処分先）を増やし廃プラスチックの原料化、サーマルリサイクル化の処理量をわずかでも増やした。

継続事例

・ 商品別に写真掲示で選別工程の効率UP（24種類の表示）

・ SUSと樹脂複合物は溶解する事で、双方のリサイクル化を実施

(H28年12月より本格的に実施)

- ・金属スクラップ、複合廃棄物の選別とリサイクル率UPの趣旨説明
- ・プレビュー画面等のパソコン画面上で入力ミス確認、校正を行い、ペーパーレス化を進めて行く
- ・コピー用紙の裏面使用と不要書類の原料化

5) 受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮

受託した廃棄物の収集・運搬は飛散、漏洩事故もなく安全、適正に処理が出来た。2020年度も収集運搬中の漏洩防止に向けて予防、及び発生時の対応方法の訓練を実施している。これの定期的な教育、訓練の成果とみている。

6) 地域社会活動に参加する

○事業所周围の定期清掃

従業員数の減少により定期的に全員での美化活動は難しくなっているため、出社時のパトロール時に放置ごみの発見時にはその都度回収を実施している。隣のゴルフ場従業員の清掃活動もあり比較的放置ごみは少なくなっている。季節による増減もある為その都度対応をしていく。

継続事例

- ・部分的にゴミが多い場合は部分的に清掃を実施する。
- ・春、夏場の行楽客からの放置ゴミが多いときは頻度を増やす。
- ・出勤後のパトロールを兼ねて放置ごみの回収を実施する。

清掃活動の様子（草むらに投げ捨てられたゴミを回収）



6. 次年度以降の取組み内容

- 電力使用量をエアコンの運転時間等の工夫で削減を図る
- 適正運行管理で燃料使用の効率化を図りCO₂排出量の削減と原単位向上
- 水道水の適正使用、及び漏水防止で使用量の削減
- 再利用、分別回収とリサイクルアイテム発掘による資源化で廃棄物量削減とリサイクル率UP、及び分別作業の効率化を図る
- スクラップから特殊金属の選別回収によるレアメタル資源の有効活用
- 化学物質の使用量削減と適正管理
- 事業所周辺の清掃活動継続実施による地域社会への貢献

7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に関連する主な法規制は下記の通りであり、それらの遵守状況の確認を今回（2021年3月30日）実施したが全て遵守されており、関係機関からの指導、勧告、訴訟、及び外部からの苦情等もありませんでした。

主な適用法令名	遵守すべき要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 県条例・市町村条例	・産業廃棄物の収集運搬業許可の有効期限遵守 ・マニフェストの管理、保管	遵守
自動車NOx・PM法	自動車NOx・PM法の排出基準を満たした車両を運行	遵守
古物営業法	標識掲示・帳簿管理・その他法令の遵守	遵守
兵庫県金属くず営業条例	標識掲示・帳簿管理・その他条例の遵守	遵守

8. 代表者による全体評価と見直し・指示

今回、エコアクション21認証後9年目の取り組みであり、年間を通じて産業廃棄物処理業者向け2017年版ガイドラインに合わせて活動を行った。

2020年度は期間当初より新型コロナウイルスの影響で5ヶ月間は仕事量が大幅に減少した為、軽油の原単位が悪くなっている月があったが殆どの取り組みで目標値を達成できた。

○温室効果ガス排出量抑制関係について

- ・電力使用量削減取り組みは目標値と比較して達成率102.94%と達成できた。
- ・軽油原単位は収集運搬量の大幅減、及び変動の大きさにより運行管理が難しかったが、結果的に原単位は達成率125.33%とクリア出来た。新型コロナウイルスの影響がまだまだ続くと考えており収集運搬量の変動及びスクラップの相場の変動は続く判断しており、原単位目標は落ち着くまで様子を見る。

○廃棄物の削減とリサイクル取り組みについて

- ・廃棄物量の収集運搬量、種類のばらつきが多かったがリサイクル率は大きく低下しなかった。リサイクル化が出来る新規処理業者を少しでも増やすことでリサイクル率の安定に繋がっていると考えている。
- 2021年度からも分別対象となる金属スクラップの分別効率をUPさせることが今まで以上に重要となってくる。今一度の創意工夫に取り組んで行く。

○環境法令関係改訂情報、その他の情報の入手について

重要な環境関連情報は業界の研修会で改訂に基づく情報が入っている。その他は新聞、インターネット、業界からの情報、及び環境法令情報サイトからの改訂情報を活用して「環境関連法規等の取りまとめ」を行っている。

○「環境経営システム」の各要素について

産業廃棄物処理業者向け2017年版ガイドラインによる2年目の取り組みとなった。データの集計方法を工夫しながら取り組んできたが特に大きな問題は発生しなかった。今後も不具合部分が出てくれば随時見直しをしていく予定としている。

○環境経営方針・目標及び実施体制について

環境経営方針・目標は運用状況を見て見直しが必要となれば次年度に反映すること。又、実施体制については現状の体制で進めていくこととする。

2021年4月2日
代表取締役 浦上富廣